

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月10日	記入者		連絡先	3815
平成18年度部名	消防本部	課名	消防総務課	課長名	門倉 豊
平成19年度部名	消防局	課名	消防総務課	課長名	門倉 豊
事務事業名	消防団活動事業				
予算上の事務事業名	消防団活動費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			23130	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				
施策名	第3施策 消防力の強化				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	地方自治法第203条第5項、相模原市非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例 相模原市消防団費用弁償支給基準				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	▼		5 事業開始年度	▼	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)
消防団活動に対し、その職務の執行等に要した経費を償うための実費弁償で、消防団員の士気の低下を防ぐとともに、団員確保の一環とする。					消防団員
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	活動実績を毎月締めとし、翌月集計し指定口座へ振り込み支給とした。 〔参考〕支給額 水・火災等 3,000円(1回) 訓練、整備、警戒等 2,500円(日額)				
支給方法及び金額については、市町村により違いがある。					
8 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	24,491	23,182	35,759	50,320	54,320
一般財源	24,491	23,182	43,642	50,320	54,320
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	17	17	33	33	33
事業コスト合計	24,508	23,199	35,792	50,353	54,353
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	消防団活動事業			対象名称 と単位	出勤費用弁償(人)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	24,508	23,199	35,792	50,353	54,353
対象数	9,232	8,830	13,726	17,000	18,500
単位あたり経費(円)	2,655	2,627	2,608	2,962	2,938
前年度比		0.99	0.99	1.14	0.99

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	活動消防団員数（人）	指標式と指標の説明	消防団活動人数と費用弁償支給人数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	9,232.0	8,830.0	12,492.0		
目標	9,232.0	8,830.0	12,492.0	0.0	0.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	活動消防団員数（人）	指標式と指標の説明	消防団活動人数と費用弁償支給人数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	9,232.0	8,830.0	12,492.0		
目標	9,232.0	8,830.0	12,492.0	0.0	0.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		消防団活動に対する実費弁償であることから必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
消防団員に対し出場（出動）報告書の早期提出を依頼するとともに、合併に伴い支給基準の見直しを行なった。			合併により市域が広域したことにより、従前になかった災害発生が想定されることから、予算対応に配慮が必要である。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		適正な執行に努めること。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			